

1周年全国シンポジウム

～私たちの未来に、いま私たちができることを考えよう～

登壇者のご紹介 (敬称略)

10.9 金 13:00-18:00

浦安ブライトンホテル東京ベイ

セッション①

パネルディスカッション

13:20-14:45

「政府の人口戦略をどう考えるか」



根本 拓 内閣府大臣政務官

2009年東京大学法学部卒業後、2011年に同大法科大学院を修了。2012年、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業に入所。2018年、米国ハーバード大学法科大学院を修了後、米国のコーエングループ（防衛系コンサルタント）に入社。2019年、経済協力開発機構（OECD）に入構。2024年、第50回衆議院議員総選挙に福島県第2区から立候補し、初当選。2026年、第51回衆議院議員総選挙で再選し、現在2期目。2026年9月、内閣府大臣政務官に就任。

政党からのビデオメッセージ



熊谷 俊人 千葉県知事

2001年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、NTTコミュニケーションズ株式会社に入社。2007年、千葉市議会議員選挙に当選。2009年、31歳で千葉市長に初当選し、当時全国最年少、政令指定都市では歴代最年少の市長となる。以降、3期12年にわたり千葉市長を務める。2021年、千葉県知事選挙に初当選。2025年に再選し、現在2期目。著書に「千の葉をつなぐ幹となれ-千葉市長10年を紐解く（俊葉会）」、「千葉と守る-思いをつなぎ、安全・健康な未来へ（ワニブックス）」など。



藤原 加奈 株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長

2001年慶應義塾大学経済学部卒業後、味の素を経て2005年フジワラテクノアート入社。2007年同大学院経営管理研究科卒業（MBA取得）。醸造機械のトップメーカーとして、DXやイノベーションなど未来志向の企業変革を推進する傍ら、「働きやすさ×働きがい」を軸とした組織づくりを主導。「選ばれる地方企業」へ進化させたことが評価され、2025年に日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2026」、フィガロジャパン「Business with Attitude」をダブル受賞した。2026年こども家庭庁「こどもとともに成長する企業構想」有識者委員に就任。



神保 政史 日本労働組合総連合会 事務局長／公益財団法人日本生産性本部 副会長 未来を選択する会議 常任幹事

1989年に三菱電機へ入社後、労働組合活動に従事。三菱電機労働組合中央執行委員長、電機連合事務局長・会長を歴任。2020年より連合副会長に就任、労働条件・中小労働委員長として春季生活闘争を牽引。2025年からは連合事務局長に就任し、現在に至る。厚生労働省労働政策審議会委員などの公職を歴任。労働運動の豊富な経験を生かし、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、賃上げ・労働条件の改善、雇用の安定、組織拡大、対話と合意形成を重視した政策策定・推進などに尽力している。

<コーディネーター>



増田 寛也 株式会社野村総合研究所 顧問／公益財団法人日本生産性本部 副会長 未来を選択する会議 共同代表

1977年東京大学法学部卒業後、建設省に入省。1995年に岩手県知事に就任し、3期12年務める。2007年、総務大臣・内閣府特命担当大臣に就任。2009年より野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授などを務め、2020年に日本郵政代表取締役社長に就任。現在、令和国民会議（令和臨調）共同代表などを務める。

「『真因の時間』とは何か」

～人口減少社会における一人ひとりの選択のために～

冒頭にドキュメンタリー『真因の時間～人口減少時代の選択～』予告編を上映



小林 味愛 未来を選択する会議 共同代表・未来に向けた対話チーム／株式会社陽と人 代表取締役

東京都出身。国家公務員等を経て、福島県国見町で株式会社陽と人を設立。規格外桃の流通・加工など、地域資源を生かして福島と都市をつなぐ事業を展開。あんぽ柿の製造工程で廃棄される柿の皮を活用したフェムケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』は数多くの賞を受賞。女性の健康課題に関する普及啓発にも取り組み、政府委員も複数務める。子育てをしながら福島と東京の二拠点で活動。



篠田 真貴子 未来に向けた対話チーム／エール株式会社 取締役

エール株式会社取締役。「コミュニケーション・ロス」最小化を通じて、個人と組織のパフォーマンス向上を支援している。2020年3月エール参画以前は、日本長期信用銀行、マッキンゼー、ノバルティス、ネスレを経て、2008～18年ほぼ日取締役CFO。慶應義塾大学経済学部卒、米ペンシルバニア大ウォートン校MBA、ジョンズ・ホプキンス大国際関係論修士。人と組織の関係や女性活躍に関心を寄せ続けている。



田村 祥宏 映画監督／株式会社イグジットフィルム 代表取締役

株式会社イグジットフィルム代表取締役、フィルムディレクター。人口減少、気候変動、災害、エネルギー等々、解決の難しい社会課題をテーマに、立場の違う人々をつなぎ、共創を促す映像作品を手がける。映画『認知症世界の歩き方』が2027年2月全国公開予定。Forbes JAPAN「NEXT100」選出。

この後の セッション③ の流れ 聞いて、選んで、話す。

1 15:30～ ショートトーク

9名が、現場のリアルな課題や、皆さんと話したい「問い」を投げかけます。どの問いが気になるか、じっくりチェック。

2 16:20～ 移動・プレ交流

会場転換の間、後方・ホワイエへ移動。話したいテーマの登壇者の前に集まって、ドリンク片手にご相談ください。

3 16:35～ テーブルで対話

9つのグループごとに、登壇者を囲んで対話。出た意見やキーワードは各テーブルの画用紙へ書き留めてください。

4 17:05～ 会場でシェア

各テーブルの対話を、90秒ずつ会場全体へ発表します。登壇者だけでなく、参加者の方からの発表も大歓迎です。

5 17:20～ 自由交流

別のテーマのテーブルに移動してもOKです。自由にご相談ください。

テーマシートの使い方

ショートトークを聞きながら、気になった「問い」について、気付いたことやアイデアのメモにお使いください。「誰の輪に入って、何を話すか」を考えておくと、対話がぐっと深まります。

「人口減少社会に挑む次世代の力」

～ひとりひとりが当事者、みんなつながろう～

9つの問いから、対話へ

TABLE

01



自分事化はどう進むのか？

阿部 裕志 株式会社風と土と 代表取締役

愛媛県生まれ。トヨタ自動車のエンジニアを経て2008年に島根県の離島・海士町に移住、起業。社名には「風の人（よそ者）と土の人（地元）が共に風土をつくる」との想いを込め、人材育成事業、出版事業、地域づくり事業を手掛ける。

TABLE

02



こどもの居場所を広げるために～学生起業家の葛藤～

澤田 朱夏 合同会社きみのたねこうぼう 代表社員

高知市出身の21歳、現役高知高専生起業家。特性のある子に寄り添う伴走支援塾や、一軒家を活用した駄菓子屋の運営、県内外での子ども向けイベント代行など、教育や居場所づくりを中心に幅広く事業を展開。学業と並行し、次世代の可能性を広げる多角的なアプローチで地域に貢献している。

TABLE

03



大人が若者にできること

辻 正太 FC今治高等学校 里山校 校長

FC今治高校里山校 校長／株式会社まちなかキャンパス代表取締役。東京大学教育学部卒業後、11年間体育教員を務める。2016年に青森県弘前市へ移住し、地域に開かれた学びの場「HLS弘前」を創設。2024年、岡田武史氏とともに新たな高校を開校し、共助のコミュニティのキャプテンを育成している。

TABLE

04



労働組合のジェンダー平等・多様性推進の取り組み

小林 茜 航空連合 会長

2009年日本航空株式会社入社。整備の現業部門、技術部などを経て、2017年9月JAL労働組合専従となり、賃金・経営対策などを担当。2021年10月より日本労働組合総連合会（連合）派遣。経済団体窓口やジェンダー政策などを担当し、2025年10月より現職。

TABLE

05



地方で女性がwell-beingに働く

藤本 菜月 一般社団法人tenten 代表

石川県出身。元国家公務員。結婚を機に退職し、2007年福島県へ転入。福島県ではパートナーの転職について4カ所を転々とする。孤独とキャリア継続に苦しんだ経験から、同じ境遇の女性たちがおかれた環境を改善しようと、「転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」を2018年に開始。2020年に法人化し、tenten設立。

TABLE
06



20代の家庭を持つことへの不安

越智 未空 未来に向けた対話チーム／特定非営利活動法人manma 代表理事

1994年生まれ、3児の母。NPO法人manma代表理事。若者が子育てで家庭で1日を過ごし仕事・結婚・子育てを含む将来設計を学ぶ「家族留学」を1000名以上、ライフデザインセミナーを5000名以上に提供。自治体・教育機関・企業と連携し全国でライフデザイン支援を展開。こども家庭庁有識者委員等を歴任。

TABLE
07



結婚する／しない／こどもを持つ／持たない 自分で選べる？

～アンコンシャスバイアスとSRHRの観点から～

山本 蓮 未来に向けた対話チーム／地方女子プロジェクト 代表

1999年山梨県生まれ。地方女子プロジェクト代表。地方の女性流出をテーマに130人以上の女性にインタビュー調査を実施。地方を離れる理由と若い女性が残る条件についてSNS・メディアで発信・考察を続けている。活動がNHK『クローズアップ現代』で取り上げられ、首相官邸での意見交換にも参加。Forbes WOMEN AWARD 2025受賞。

TABLE
08



メディアを共創する

田村 祥宏 映画監督／株式会社イグジットフィルム 代表取締役

株式会社イグジットフィルム代表取締役、フィルムディレクター。人口減少、気候変動、災害、エネルギー等々、解決の難しい社会課題をテーマに、立場の違う人々をつなぎ、共創を促す映像作品を手がける。映画『認知症世界の歩き方』が2027年2月全国公開予定。ForbesJAPAN「NEXT100」選出。

TABLE
09



人の選択に寄り添う聴く力

篠田 真貴子 未来に向けた対話チーム／エール株式会社 取締役

エール株式会社取締役。「コミュニケーション・ロス」最小化を通じて、個人と組織のパフォーマンス向上を支援している。2020年3月エール参画以前は、日本長期信用銀行、マッキンゼー、ノバルティス、ネスレを経て、2008～18年ほぼ日取締役CFO。慶應義塾大学経済学部卒、米ペンシルバニア大ウォートン校MBA、ジョンズ・ホプキンス大国際関係論修士。人と組織の関係や女性活躍に関心を寄せ続けている。

「未来を選択する会議」について

「人口減少時代の生き方、くらし方、働き方を考える」をテーマに、人口減少下においても多様性と成長力を兼ね備えた持続可能で活力ある社会の構築を目指し、2025年10月27日に発足した有志による会議体です。

経済界、労働界、地方自治体、子育て支援団体、学識者、次世代を担う若者など約100名のステークホルダーが参画し、シンポジウムの開催、関係者との対話・交流、情報発信、調査研究、政策提言等を通じて、国民運動としての気運醸成に取り組んでいます。

お問い合わせ

未来を選択する会議事務局（公益財団法人日本生産性本部内）

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7-20 CREAL SQUARE 半蔵門9F

TEL 03-3511-4012 FAX 03-3511-4067

E-mail jinko-pro@jpc-net.jp



アンケートに
ご協力ください



Webサイトはこちら
iroiromirai.jp